

— 福島原発事故から 12 年 —

OurPlanet-TV の特集記事より、内容を一部紹介します。
詳しくは、<https://www.ourplanet-tv.org>



多発する小児甲状腺がん — 福島県民調査 2023 年

福島原発事故によって放出された放射線にさらされ、甲状腺がんを発症した子どもたちがいます。小児甲状腺がんは、通常 100 万人に 1~2 人（年間）と言われる極めて珍しい病気で、チェルノブイリ原発事故後に増えたことが知られています。

「小児甲状腺がん悪性疑い 358 人」—— 原発事故から 12 年間で、多くの子どもと若者が甲状腺がんと診断され、手術を受けていると「福島県民調査」検討委員会が公表しました。（7 月 20 日）。

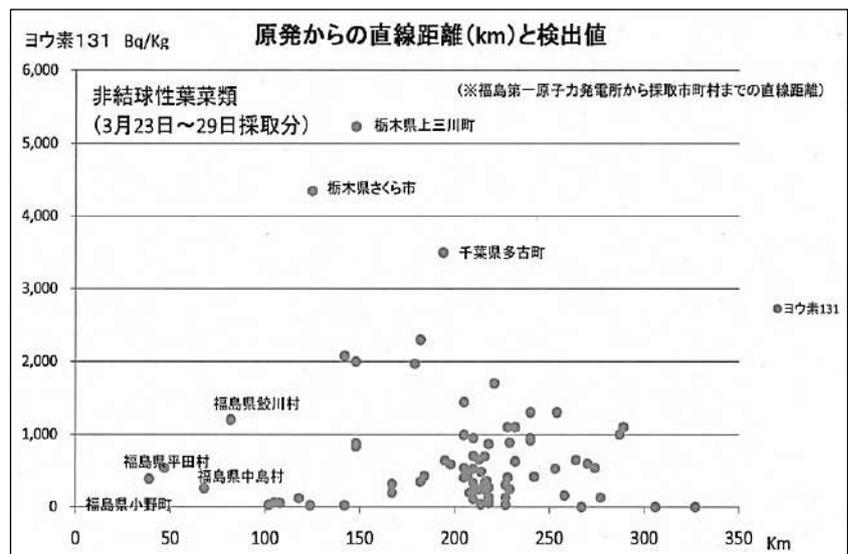
➡ OurPlanet-TV 2023/07/20 - 05:15 「小児甲状腺がん悪性疑い 358 人～福島県民調査」

野菜は遠距離でも汚染 — 農水省 独自解析 2011 年

福島原発事故後、野菜に沈着した放射性ヨウ素による汚染は必ずしも同心円状に広がっているわけではありません。原発から 200 キロ近い千葉市多古町のホウレンソウから 3500Bq/kg の放射性ヨウ素が検出されたほか、300 キロ近く離れた地点でも 1000Bq/kg を超えています。

千葉県農作物が出荷制限になったのは、放射性物質の検出が明らかになってから 2 週間後の 4 月 4 日。対象は、香取市と多古町のホウレンソウと、旭市のホウレンソウ、チンゲンサイ、シュンギク、サンチュ、セルリー、パセリのみです。

また、東京都のコマツナは基準値を超えましたが、出荷制限の対象になりませんでした。



原発からの直線距離と検出値等の図表 2011 年

（原発事故後、農水省内に発足した技術者のチームが、野菜の汚染の傾向を把握するためにまとめたものを OurPlanet-TV が新たに入手（2023 年 8 月 21 日）。

➡ OurPlanet-TV 2023/08/21 - 09:59 「原発事故後の野菜『遠距離でも汚染』～農水省の独自解析」